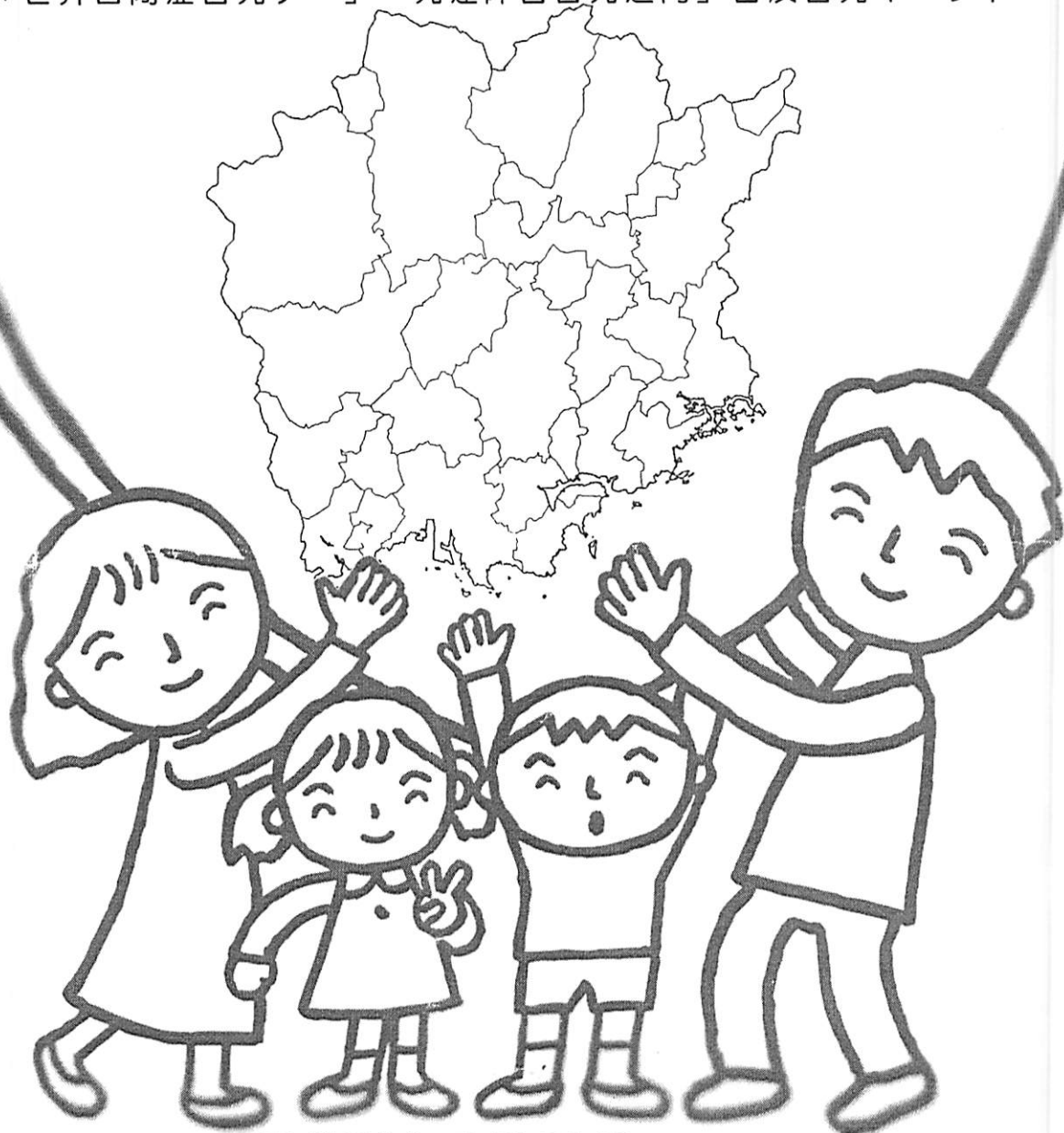


平成23年度 第2回

# 発達障害者支援セミナー

家族支援とペアレントメンターの意義と役割

～「世界自閉症啓発デー」「発達障害啓発週間」普及啓発イベント～



開催日：平成24年3月30日

場所：きらめきフラザ 301 会議室

主催：岡山県

共催：おかやま発達障害者支援センター

# プログラム

開会 13:00

1. 開会挨拶 13:00～13:05

岡山県保健福祉部障害福祉課 班長 小原 誠司

2. 特別講演 13:05～14:50

『家族支援とペアレントメンターの意義と役割』

鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座教授

井上 雅彦

—休憩(10分)—

3. グループディスカッション 15:00～15:55

閉会 謝辞

おかやま発達障害者支援センター 所長 新谷 義和

# 平成 23 年度第 2 回発達障害者支援セミナー当日アンケート結果（抜粋）

## 1. 支援セミナーアンケート結果概要

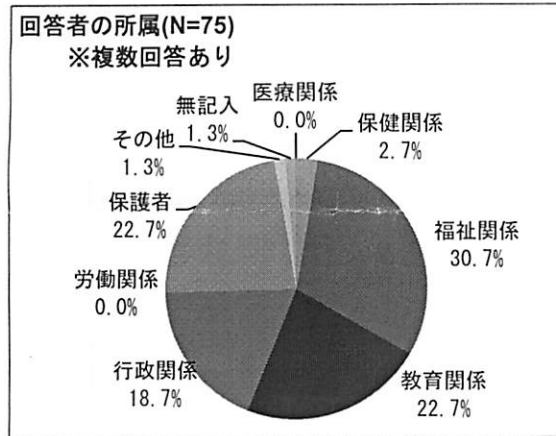
○実施日：2012年3月30日（金）

○参加者数：81名（事前申込者92名中77名 + 当日参加申込者4名）

○回答者数：72名（回収率：88.9%）

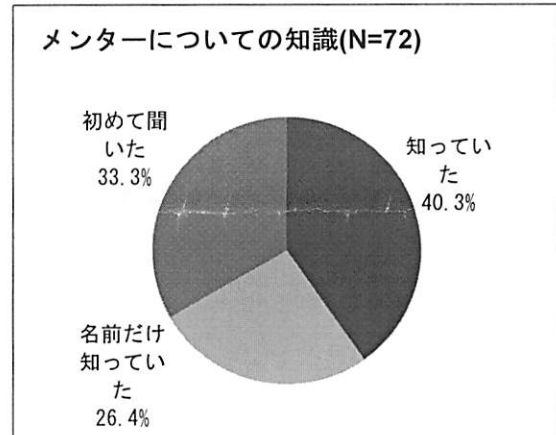
## 2. 回答者内訳

### ■所属（複数回答あり）



（その他：知的障害者相談員）

### ■講演前のメンターの知識



## 3. セミナーの感想

特別講演について、9割が「よかった」と回答していた。グループディスカッションについては7割が「よかった」と回答していた。下記に感想を一部抜粋する。

<特別講演に関する感想>

- ・ メンターについてわかりやすくまとめて頂いて良かった。（保護者）
- ・ 同年代の子どもを持つ親同士の交流の大切さがよくわかった。（福祉関係）
- ・ 特別支援の子どもがいる保護者に対する対応がとても難しいが、ちょっとしたことで保護者は敏感に反応するというのを頭に入れておきたい。（教育関係）

## 4. 今後のメンター活動に期待すること

ペアレントメンターになってみようと思う保護者は、「思う」（52.9%）、「少し思う」（17.6%）であった。ペアレントメンターの今後活用していきたいと思う支援者は、「思う」（51.7%）、「少し思う」（13.8%）であった。

岡山県内で、どのような場面でメンターの協力があるとよいかについては、以下に一部抜粋する。

<今後のメンターの活用について>

- ・ 診断後のフォロー。（福祉関係）
- ・ 教員研修で話をしていただきたい。（教育関係）
- ・ 進路などで悩んでおられる保護者の相談先として紹介していきたい。（教育関係）
- ・ 乳幼児健診でのサポート、要観察児教室でのサポート。（行政関係）
- ・ 発達障害者支援センターがコーディネーター機能を持って体制をつくってもらいたい。具体的にはペアトレや親の会の勉強会などにご協力いただきたい。（行政関係）
- ・ 最初の“気づき”の段階にメンターの協力があると先のいろんな事柄が割とスムーズにいくと思う。（保護者）
- ・ 相談機関にいく前の段階で誰かに話を聞いてほしい時に。（保護者）